







10

ザリー  
「おっ。いいにおいがする。やったあー。この匂いたまらねー。」

いつのまに、空からするめが落ちてくるのが見えました。

もっち  
「あっ。ザリー君。そんなもの食べたら危ないよ。空の方へ連れていかれちゃうよ。私何回も見てきたもん。」

ザリー  
「いいんだもっち。これ食べられるならどこでも行くよ。」

「おいらの母ちゃんは、人間に連れてこられたんだ。きっと、人間に連れてこられたものは、いつかまた、人間に連れていかれるのさ」

ザリーは、空へと昇ってゆきました。

もっち  
「さよなら、ザリー君。」